

2012年3月期第2四半期決算

Shine[★] 2011

2011年11月1日
双日株式会社

■ 目次

- I. 2012年3月期第2四半期決算実績
- II. Shine2011の進捗状況
- III. 利益配当金

【ご参考資料】 事業セグメント別情報
【補足資料】 決算実績サマリー

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている将来の計画数値、施策など見通しに関する内容は、現在入手可能な情報から当社が現時点で合理的であるとした判断および仮定に基づいて算定されています。従って、実際の業績は内外主要市場の経済状況や為替相場など様々な重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。

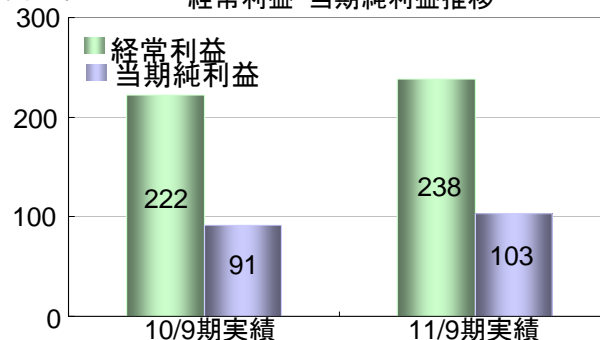
I. 2012年3月期第2四半期決算実績

■ 2012年3月期第2四半期実績 PLサマリー

前年同期実績を上回り、順調な進捗

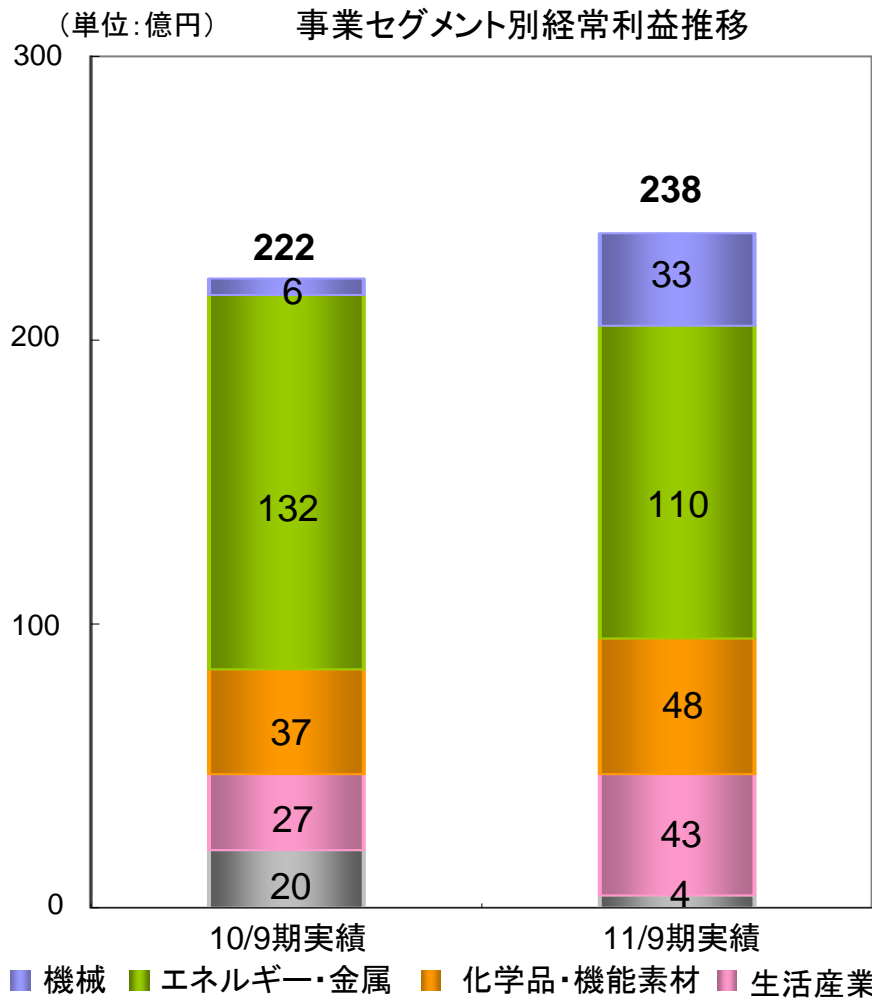
(単位:億円)	10/9期実績	11/9期実績	前年同期比 増減	12/3期見通し	進捗率
売上高	19,652	21,957	+2,305	43,800	50%
売上総利益	937	1,022	+85	2,140	48%
営業利益	174	227	+53	500	45%
経常利益	222	238	+16	460	52%
当期純利益	91	103	+12	160	64%
包括利益	▲188	▲53	+135		
基礎的収益力	200	252	+52		

(単位:億円) 経常利益・当期純利益推移



■ 2012年3月期第2四半期実績 事業セグメント別経常利益

非資源分野の収益増加で前年同期を上回る実績



前年同期比増減要因

- **機械** (増減率+450%)
中南米、ロシア・NISの自動車事業子会社の販売台数の増加等
- **エネルギー・金属** (増減率▲17%)
持分法投資利益の減少等
- **化学品・機能素材** (増減率+30%)
アジア地域の需要増加による取扱数量増加、販売価格上昇等
- **生活産業** (増減率+59%)
木材関連取引等の増加
- **その他** (増減率▲80%)
不動産関連の評価損計上により減益

■ 2012年3月期第2四半期実績 BSサマリー

財務健全性を維持

(単位: 億円)

	11/9末	11/3末	増減額		11/9末	11/3末	増減額	
流動資産	12,970	12,667	+303	有利子負債	短期	3,839	3,097	+742
					長期	7,435	8,066	▲631
				その他負債	6,612	6,452	+160	
投資、 その他資産	8,417	8,503	▲86	自己資本(※) (純資産合計)	3,210 (3,501)	3,300 (3,555)	▲90 (▲54)	
資産合計	21,387	21,170	+217	負債・純資産合計	21,387	21,170	+217	
リスクアセット (自己資本対比)	3,000 (0.9倍)	3,100 (0.9倍)	▲100 (0.0倍)	自己資本比率 (%)	15.0%	15.6%	▲0.6%	
流動比率(%)	133%	142%	▲9%	ネット有利子負債	7,279	7,006	+273	
長期調達比率 (%)	66%	72%	▲6%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	2.3 (2.1)	2.1 (2.0)	+0.2 (+0.1)	

(※) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

■ 商品、為替、金利の市況実績

	2011年 市況前提 (年平均)	2011年 市況実績 (1-6月平均)	2011年 市況実績 (7-9月平均)	2011年 市況実績 (1-9月平均)	市況実績 (10/28時点)
原油(Brent)(※1)	\$90/bbl	\$111.2/bbl	\$113.5/bbl	\$111.9/bbl	\$111.8/bbl
石炭(一般炭) (※2)	\$120/t	\$124.1/t	\$121.8/t	\$123.3/t	\$117.9/t
モリブデン	\$18.5/lb	\$17.0/lb	\$14.6/lb	\$16.2/lb	\$12.9/lb
ニッケル	\$11/lb	\$11.6/lb	\$10.0/lb	\$11.1/lb	\$9.0/lb
為替(※3)	¥80/\$	¥81.8/\$	¥77.1/\$	¥80.2/\$	¥75.8/\$
金利 (TIBOR)(※4)	0.5%	0.34%	0.34%	0.34%	0.34%

※1 原油・ガスの収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

※2 石炭(一般炭)は基本的に年間契約であり、SPOT価格の影響は受けない。また上記市況実績・前提は当社の販売価格とは異なる

※3 為替(米ドルのみ)の収益感応度 ¥1/US\$ 変動すると、売上高で50億円程度、経常利益で2億円程度、自己資本で12億円程度の影響

※4 金利の収益感応度 1%変動すると、年間15~20億円程度の影響

II. Shine2011の進捗状況

■ 事業環境および業績見通し

外部環境

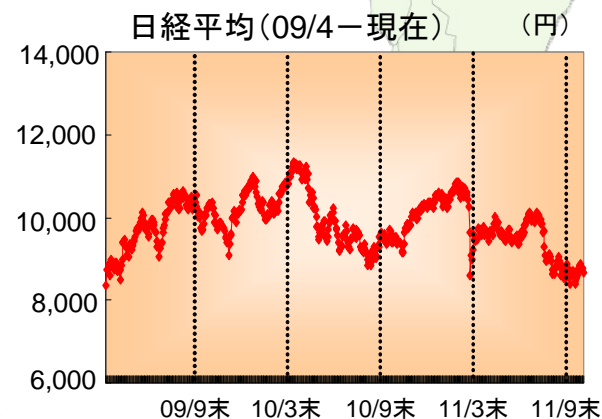
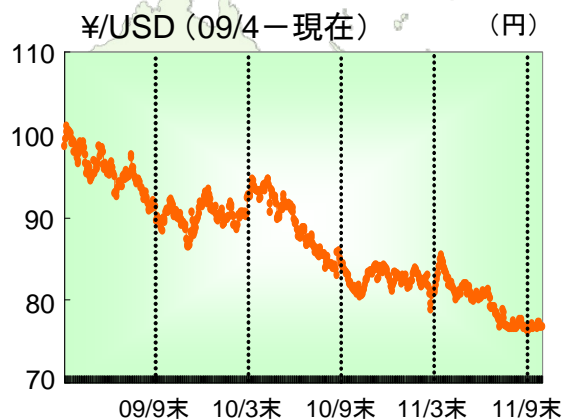
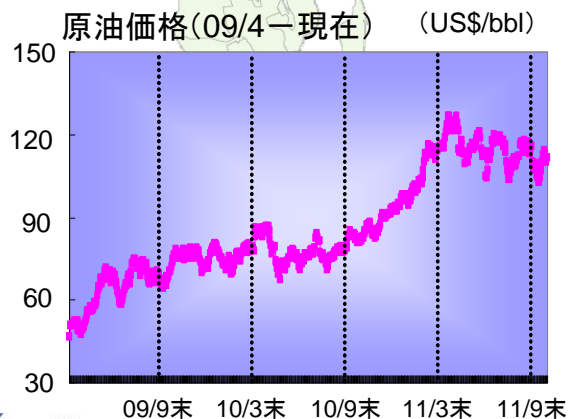
- 新興国の経済成長率は依然として堅調なるも、やや鈍化する見通し
 - ✓ タイ洪水の影響
- 先進国を中心に世界景気に後退懸念
 - ✓ 米国経済先行き不透明
 - ✓ 欧州財政問題
- 円高・株安
- 商品市況下落



当社

- 新興国の堅調な需要で、自動車や化学品は、上期想定以上に進捗するも、下期動向には注視が必要
- 市況商品の下落で、金属資源関連の収益が減少見込み
- タイ洪水により、一部事業の業績に影響あり
- 為替(円高)の影響

経常利益460億円、当期純利益160億円を据え置く

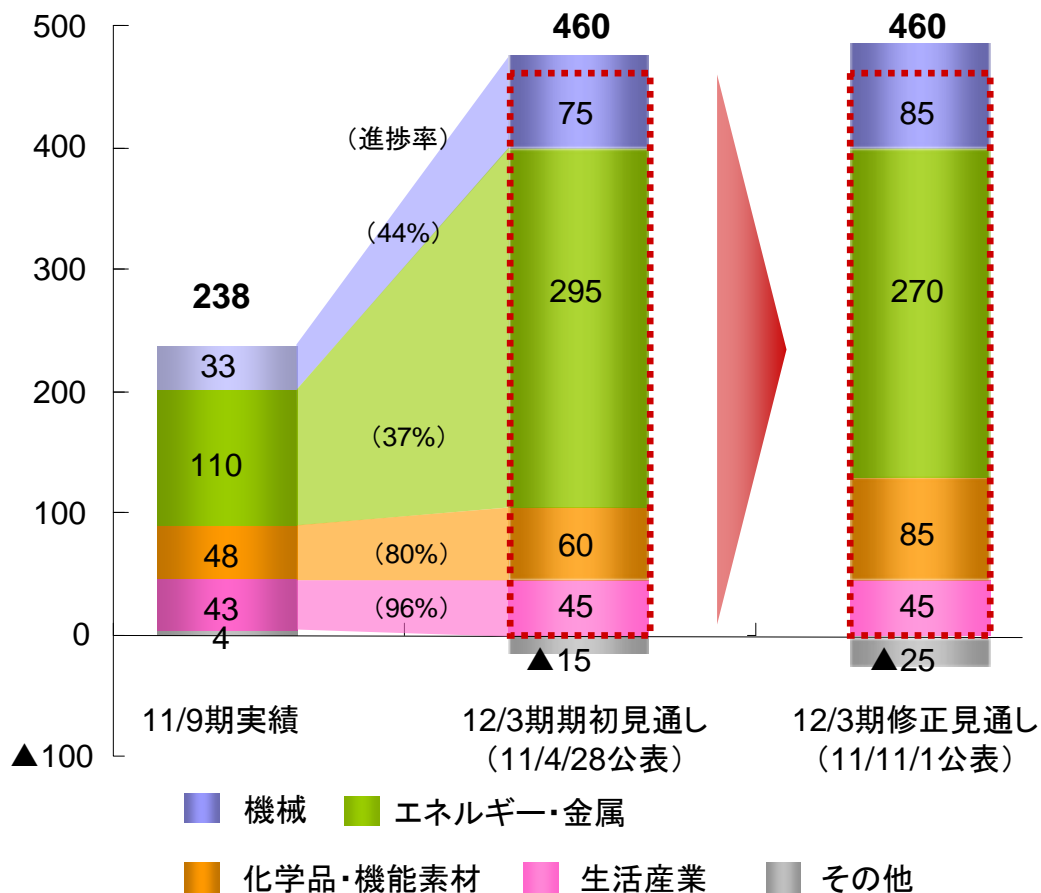


2012年3月期通期見通し

足元の状況を踏まえ、事業セグメントの通期見通しを修正

(単位: 億円)

事業セグメント別経常利益



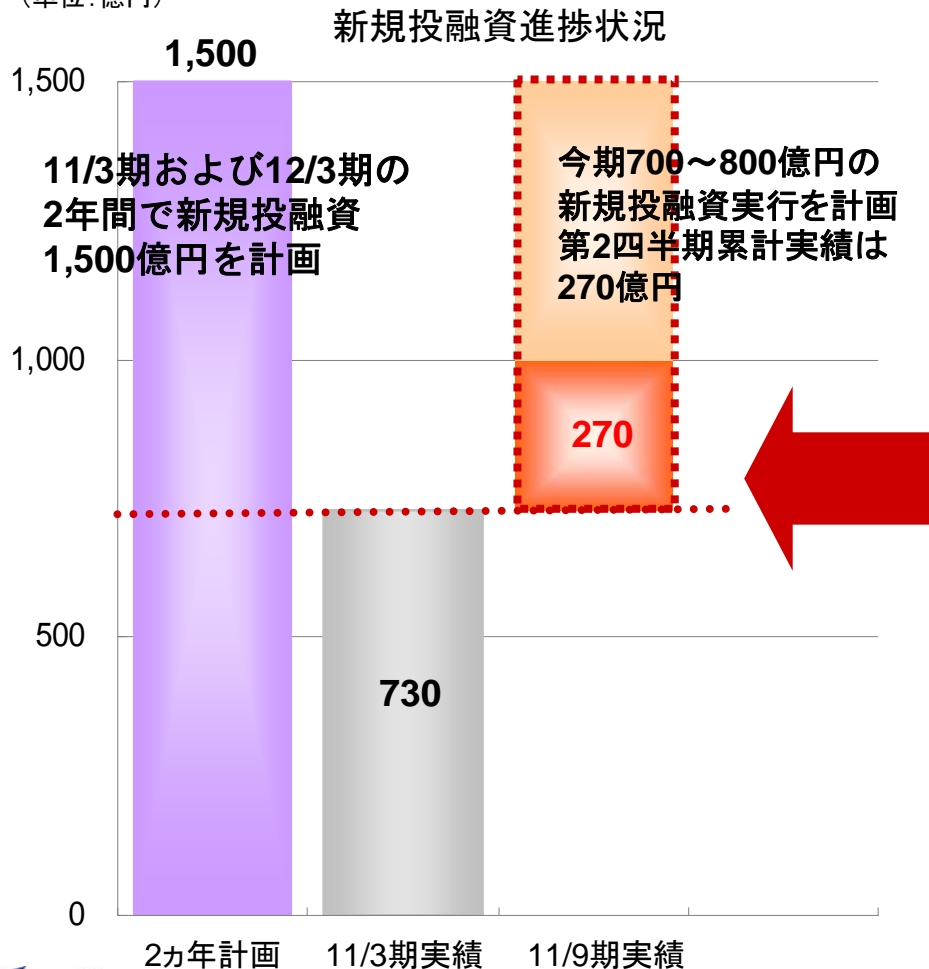
修正要因

- **機械**(+10億円上方修正)
中南米、ロシア・NISの自動車事業子会社の上期業績が想定以上に順調に進捗
- **エネルギー・金属**(▲25億円下方修正)
持分法投資利益の減少、市況下落等
- **化学品・機能素材**(+25億円上方修正)
アジア地域の需要増加による取扱数量増加、販売価格上昇等
- **生活産業**(-)
下期にタイ肥料事業の洪水の影響や上期好調の木材関連取引の反動減等を見込む
- **その他**(▲10億円下方修正)
上期に不動産関連の評価損を計上

■ 新規投融資

持続的成長に向けた継続的な収益基盤強化

(単位:億円)



- 今期700~800億円の新規投融資を計画
- 資源関連事業への投資に加え、機械、化学品、食料資源、アグリビジネス等、非資源分野にも注力

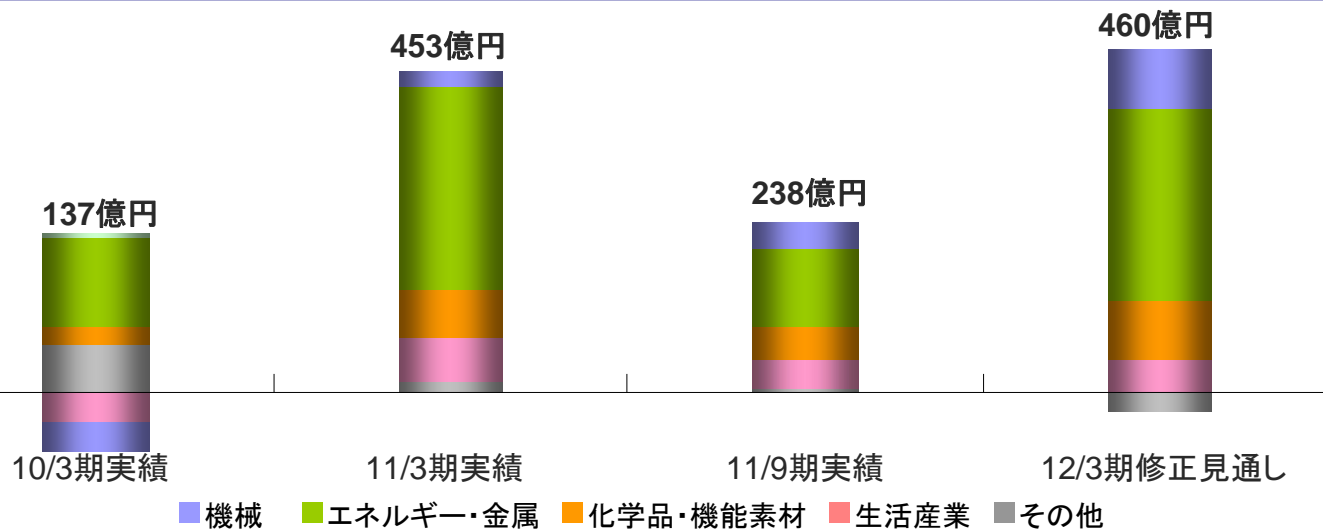
- 12/3期 第2四半期累計実績：270億円
- 資源分野：石炭権益新規取得、石灰製造事業出資、石油・ガス、石炭、モリブデン等既存権益の拡張
- 非資源分野：ドイツ太陽光IPP事業出資、ベトナム製粉事業増資、ベトナム飼料会社設立、ベトナム工業団地設立、モザンビーク木材チップ事業出資、国内食品会社出資、空港リテール事業出資

資産の入替えを基本とし、良質な資産を積み上げながら財務健全性を維持

■ Shine 2011の進捗

資産の入替えにより良質な事業・資産の積み上げ

経常利益推移



営業収益力回復で持続的成長へ

収益基盤強化

- エネルギー・金属資源権益の拡充**
 石炭・レアメタル等資源関連権益の新規獲得、既存権益の拡張
- 注力事業の強化**
 自動車事業の業績改善、化学品関連事業の事業投資、IPP事業の拡大等
- 新規事業育成**
 環境・新エネルギー、アグリビジネスへの取り組み

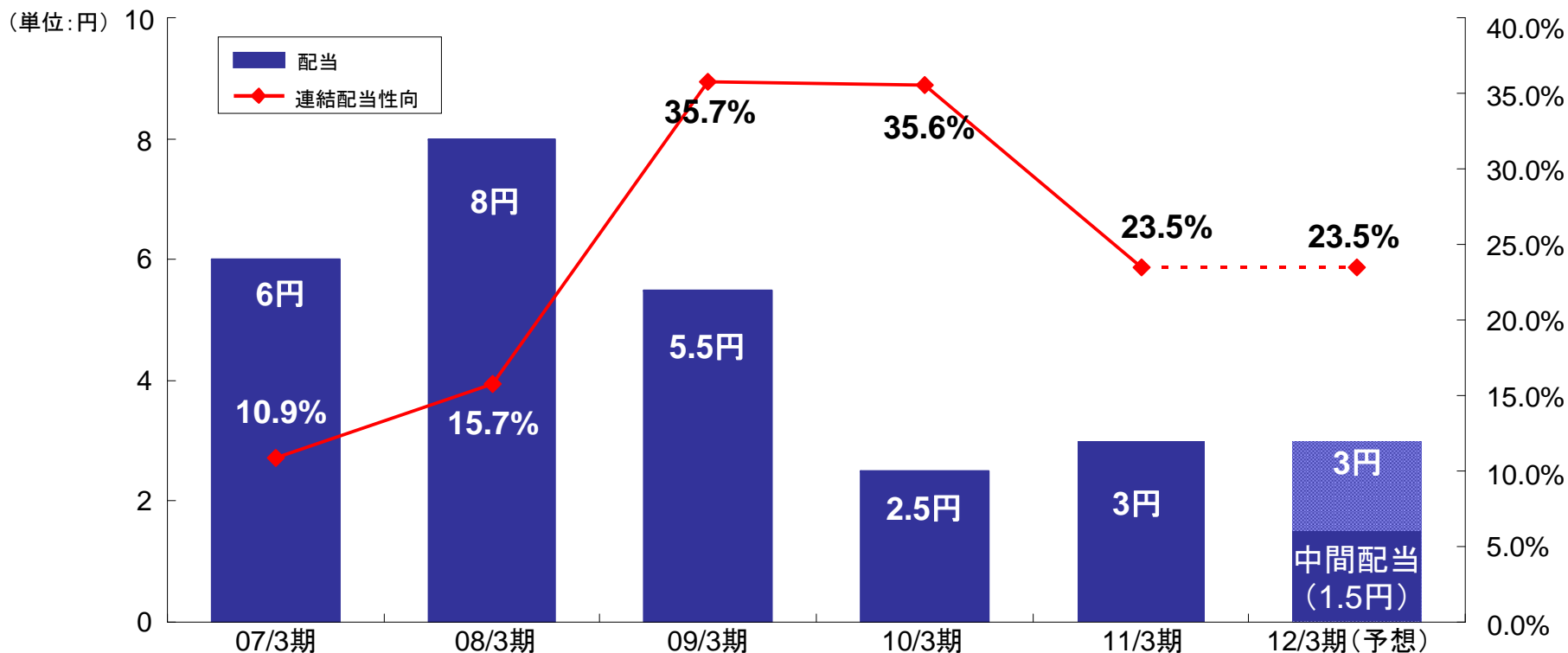
III. 利益配当金

■ 利益配当金

1株当たり年間配当金・連結配当性向推移

配当に関する基本方針

安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の重要課題のひとつと位置付けとしています



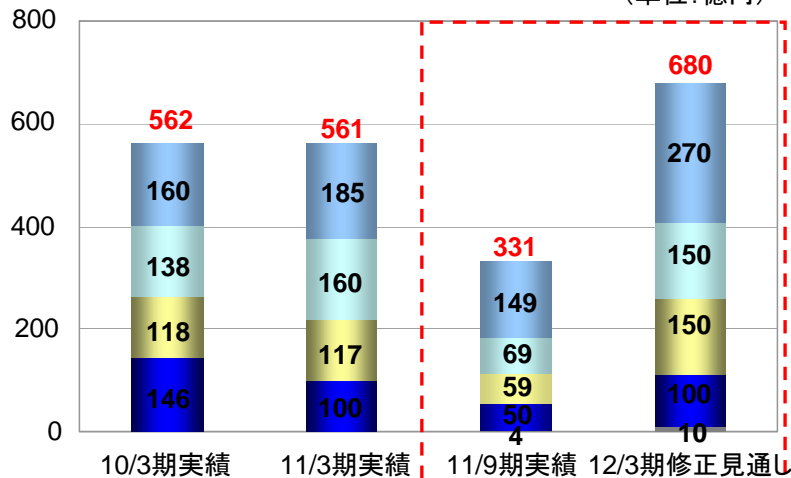
(注) 連結配当性向につきましては期末発行済普通株式数にて算定しております

【ご参考資料】 事業セグメント別情報

■ 機械セグメント

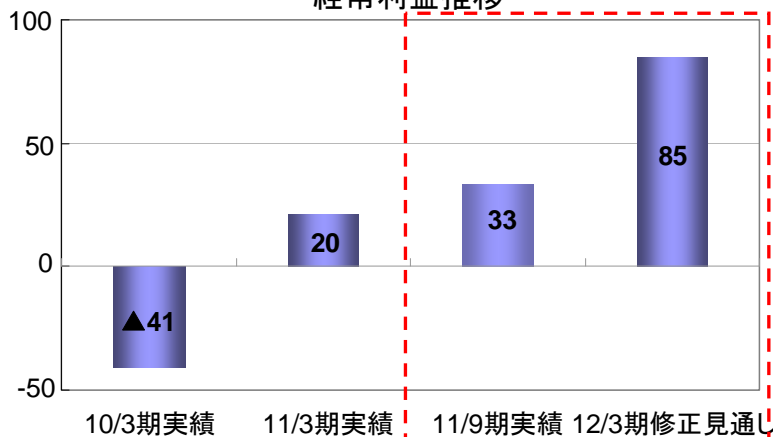
本部別売上総利益推移

(単位:億円)



■ 自動車 ■ インフラPJ・産機 (旧環境・インフラPJ)
■ 産業情報 ■ 船舶・宇宙航空 ■ その他

経常利益推移



足元の状況

【経常利益】 11/9期実績 33億円 / 12/3期修正見通し 85億円 (期初見通し75億円)

- ▶ 自動車
中南米、ロシア・NISの事業子会社の販売台数増加で上期業績が順調に進捗したことにより見通しを上方修正
- ▶ インフラPJ・産機 (旧環境・インフラPJ)
期初の出遅れ等もあり、見通しを下方修正
- ▶ 産業情報
見通しが下期偏重により上期までは低調だが、通期では概ね計画通り
- ▶ 船舶・宇宙航空
ほぼ計画通りに推移する見込み

Shine2011 期間中の取組み

【自動車事業】

- ロシア事業の在庫水準適正化とベネズエラ組立事業の安定操業化による事業再生
- エクスポージャー管理の継続
- ディーラー等川下事業への参画等による事業ポートフォリオの再編

【インフラ・プラント事業】

- プラント受注拡大
- 中長期的に収益貢献が期待できるIPP投資への取組み
- 新興国におけるインフラ需要の取り込み

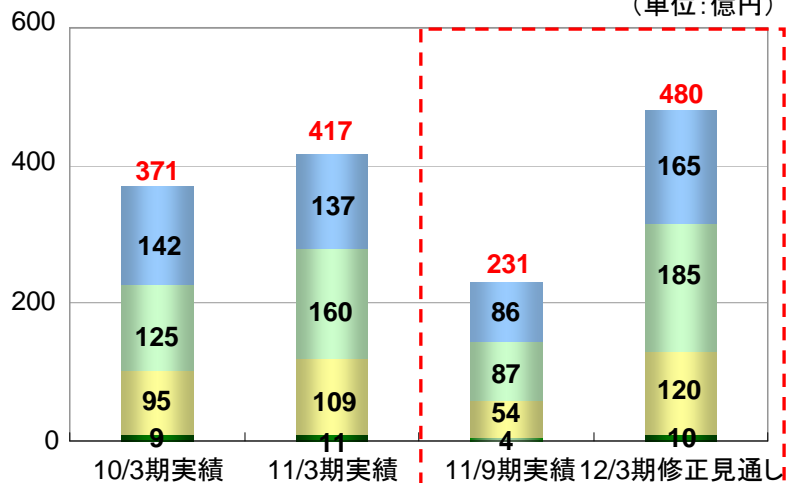
【産業情報事業】

- 日商エレクトロニクスを中核とし、ICTサービス事業の拡大
- アジア等海外市場での取組み強化

■ エネルギー・金属セグメント

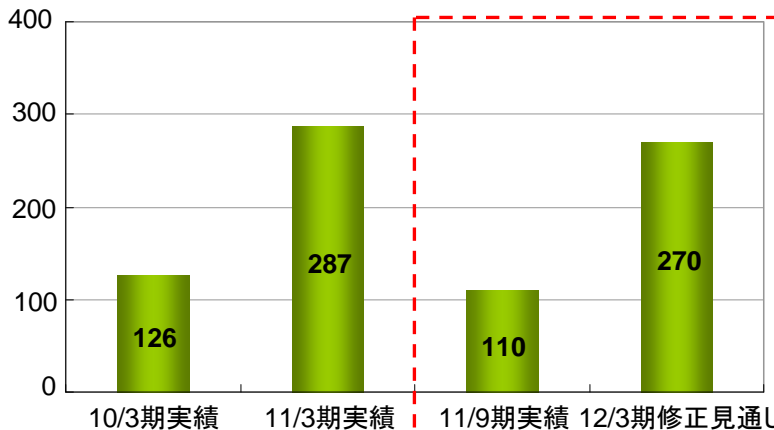
本部別売上総利益推移

(単位: 億円)



■ エネルギー・原子力 ■ 石炭・非鉄金属
■ 鉄鋼・製鉄原料 ■ その他

経常利益推移



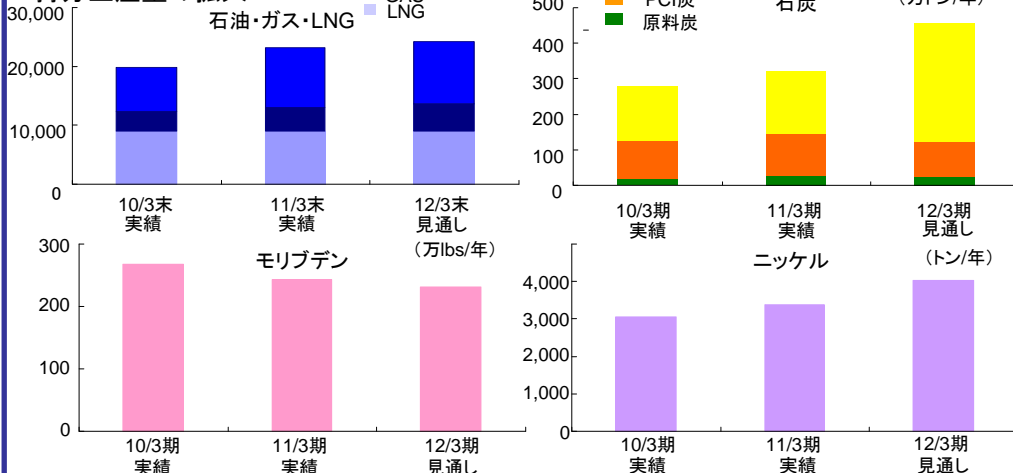
足元の状況

【経常利益】 11/9期実績 110億円 / 12/3期修正見通し 270億円 (期初見通し295億円)

- ▶ エネルギー・原子力
石油・ガスの全般的な市況の上昇により上期は順調に進捗しており、概ね見通し通り
- ▶ 石炭・非鉄金属
石炭は豪州の大雨の影響があったものの第2四半期以降で挽回し堅調に推移する見込みだが、銅市況下落や為替等の影響もあり、通期見通しを下方修正
- ▶ 鉄鋼・製鉄原料
持分法投資利益の減少や市況下落等の影響により、通期見通しを下方修正

Shine2011 期間中の取組み

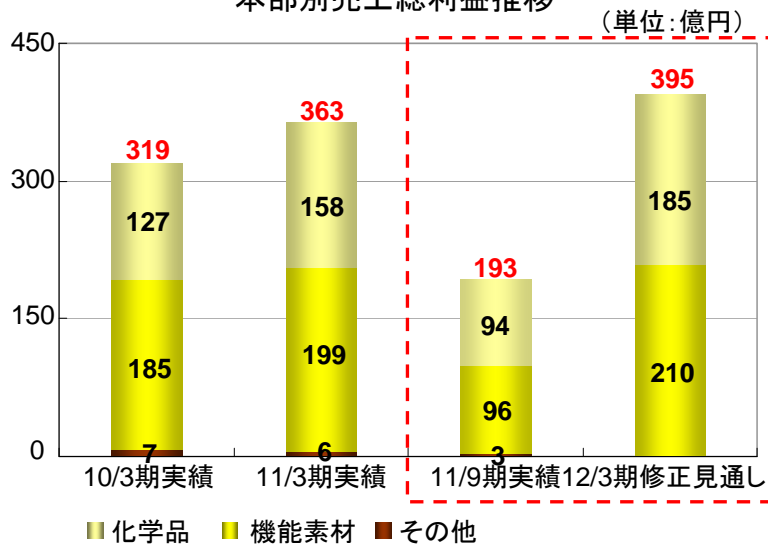
● 持分生産量の拡大



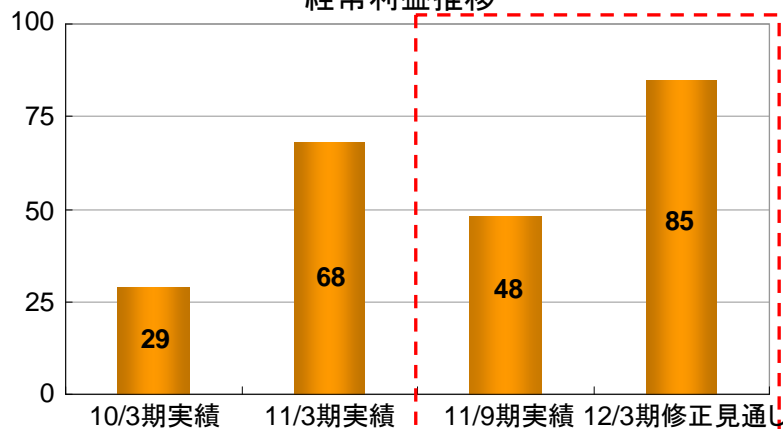
- 資源権益メニューの拡充および既存権益の拡張による持分生産量拡大
- 太陽光関連ビジネスにおける、上流から下流までのバリューチェーン構築

■ 化学品・機能素材セグメント

本部別売上総利益推移



経常利益推移



足元の状況

【経常利益】 11/9期実績 48億円/12/3期修正見通し 85億円 (期初見通し60億円)

▶ 化学品

アジアの需要増加による取扱数量増加、販売価格上昇等により上期進捗が順調だったことを踏まえ、通期見通しを上方修正

▶ 機能素材

円高による輸出取引減少等の影響があるものの、アジアを中心に引き続き堅調に推移すると見て、概ね見通し通り

Shine2011 期間中の取組み

【化学品事業】

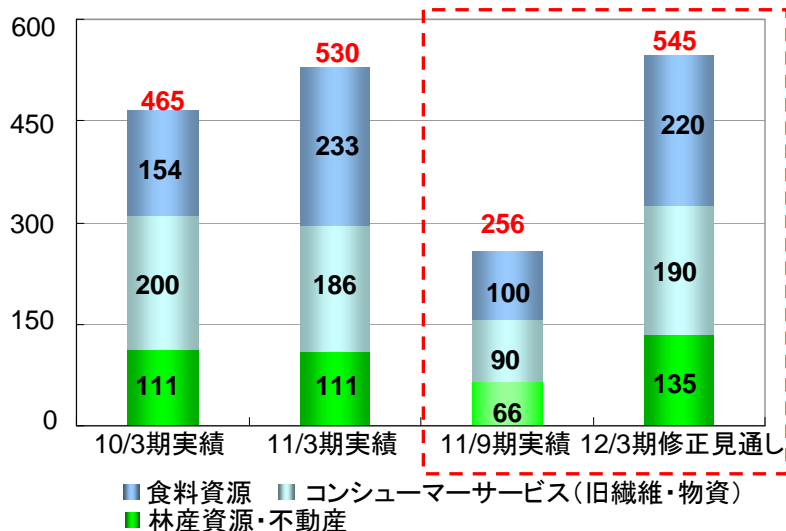
- 戦略商品における物流バリューチェーン強化
 - ▶ 戦略商品: 工業塩・レアアース・リチウム・メタノール・メトン樹脂
 - ▶ 供給ソースを押さえる取組み
- 中国・アジア等における海外物流ビジネスの強化

【機能素材事業】

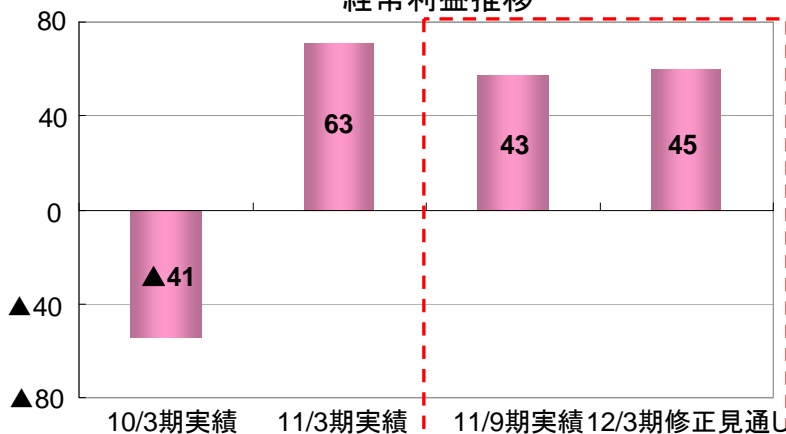
- 集中分野における物流取引のチェーン展開
 - ▶ 集中分野: エレクトロニクス、太陽光発電関連、高機能モノマー

■ 生活産業セグメント

本部別売上総利益推移 (単位: 億円)



経常利益推移



足元の状況

【経常利益】 11/9期実績 43億円/12/3期修正見通し 45億円 (期初見通し45億円)

- ▶ 食料資源
海外肥料事業におけるタイの洪水の影響を織り込み、通期見通しを下方修正
- ▶ コンシューマーサービス (旧物資・繊維)
1Qの煙草需要の増加に加え、震災の影響が想定よりも軽微だったことから、通期見通しを上方修正
- ▶ 林産資源・不動産
1Qで震災の影響に伴い、木材関連取引が伸長したものの、2Q以降の反動減を見込み、見通しを据え置く

Shine2011 期間中の取組み

【食料事業】

- 海外における事業展開の加速
 - ▶ ベトナムでの食品コンビニ事業
 - ▶ 肥料原料確保の取組み・事業地域拡大
- 小麦等食料資源確保への取組み
- アグリビジネスの取組み

【リテール事業】

- 消費拡大の見込めるベトナム、中国等アジアでの事業展開

【補足資料】 決算実績サマリー

■ P/L推移

(単位:億円)

	07/3期 実績	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	11/3期 実績	11/9期 実績	12/3期 見通し
売上高	52,182	57,710	51,662	38,444	40,146	21,957	43,800
売上総利益	2,545	2,777	2,356	1,782	1,927	1,022	2,140
営業利益	779	924	520	161	375	227	500
経常利益	895	1,015	336	137	453	238	460
当期純利益	588	627	190	88	160	103	160
基礎的収益力	898	1,017	483	144	419	252	545
(ご参考)							
ROA	2.3%	2.4%	0.8%	0.4%	0.7%	—	0.8%
ROE	12.8%	13.0%	4.8%	2.6%	4.7%	—	4.9%

■ B/S推移

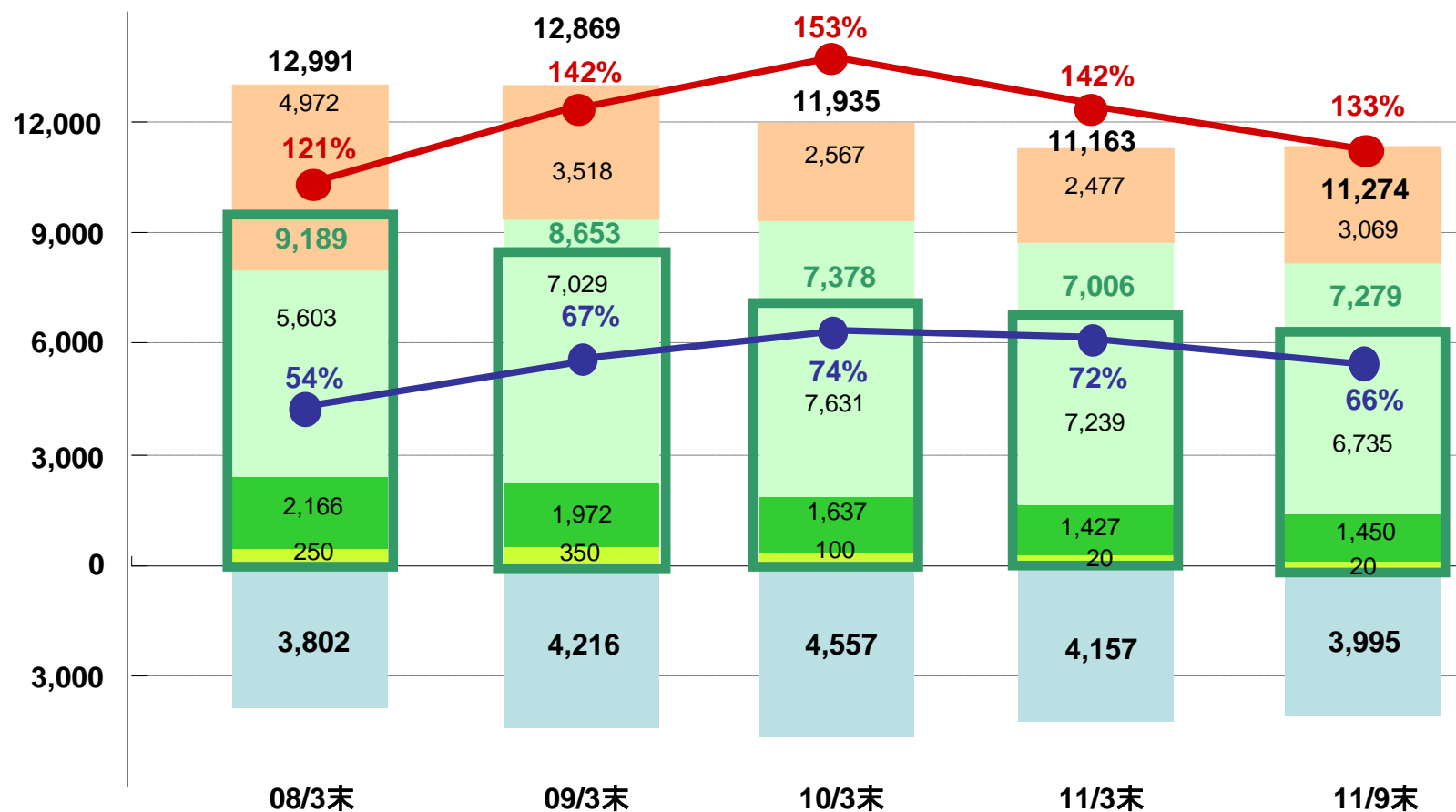
(単位:億円)

	09/3末	10/3末	11/3末	11/9末		09/3末	10/3末	11/3末	11/9末	
流動資産	14,732	12,853	12,667	12,970	有利子負債	短期	4,289	3,068	3,097	3,839
						長期	8,580	8,867	8,066	7,435
投資、 その他資産	8,398	8,756	8,503	8,417	その他負債	6,706	5,900	6,452	6,612	
資産合計	23,130	21,609	21,170	21,387	自己資本(※) (純資産合計)	3,190 (3,555)	3,524 (3,774)	3,300 (3,555)	3,210 (3,501)	
					負債・純資産合計	23,130	21,609	21,170	21,387	
リスクアセット (自己資本対比)	3,500 (1.1倍)	3,200 (0.9倍)	3,100 (0.9倍)	3,000 (0.9倍)	自己資本比率 (%)	13.8%	16.3%	15.6%	15.0%	
流動比率(%)	142%	153%	142%	133%	ネット有利子負債	8,653	7,378	7,006	7,279	
長期調達比率 (%)	67%	74%	72%	66%	ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	2.7 (2.4)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	2.3 (2.1)	

(※) 自己資本=純資産合計-少数株主持分

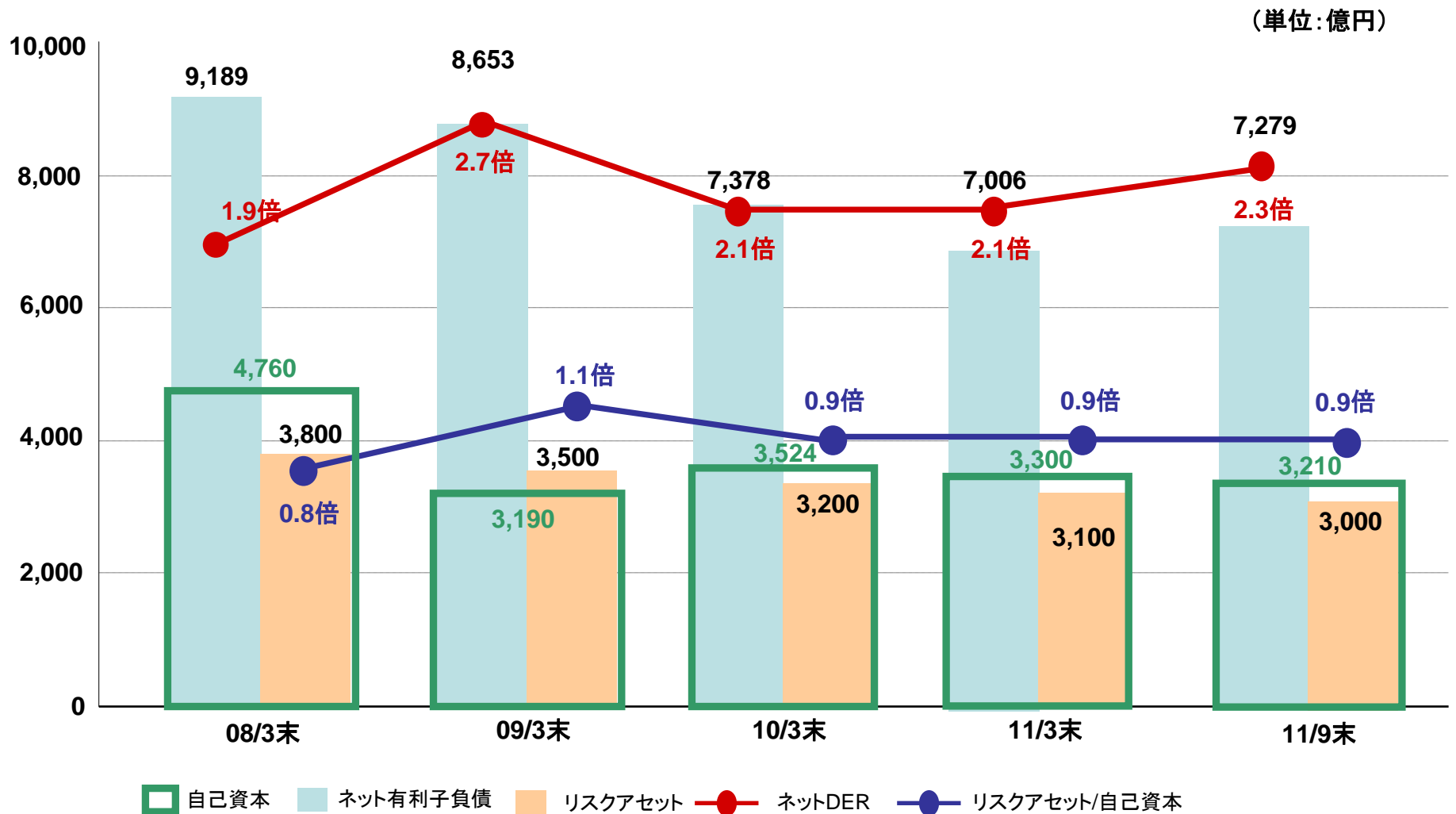
有利子負債推移

(単位: 億円)



■ 短期借入金 ■ 長期借入金 ■ 社債 ■ CP ■ 現預金
■ ネット有利子負債 ● 流動比率 ● 長期調達比率

■ ネット有利子負債/リスクアセット推移





sojitz

New way, New value